



もし東京だったら・・・

地震の後、台風

近畿地方は、六月に大阪府北部地震で被害を受け、今度は台風21号。コンテナやトラックが飛ばされた。関西空港では滑走路が水没。タンカーが連絡橋に衝突。そんな中・・・

北海道で震度七の地震

震度七の厚真(あつま)町では山のあちこちが崩れた。北海道全体で停電。

こんな地震は誰も予想していなかった。つまり、震度七、地盤が崩壊する地震はどこでも起きるのだ。原発は震度七、地盤の崩壊で壊滅。再稼働はとんでもない。

関東地方だったら

全国各地で地震や台風の猛烈な被害が出て

いる。しかし、何故か関東地方は今この所平穩。

もし、関東地方で大震災があつて、堤防が傷ついたとしよう。そこに巨大台風が来たらどうなるか？東京の荒川の辺りには百平方キロ以上のゼロメートル地帯がある。高潮で海水に浸かった関空は潮位が戻れば海面上に現れる。ところがゼロメートル地帯では潮位が戻っても海の中。

東日本大震災で津波の被害を受けた地域では住宅の高台移転が進んでいる。

ゼロメートル地帯をかさ上げしたり、高台移転を今の裡にすべきではないか？そもそも東京に高層ビルを沢山建て、人口を集中させている状態がおかしい。地方にオフィスを移す動きを強めるべきでは？ あなたはどう思われますか？

飯泉取水堰

神奈川県小田原市 酒匂川 二〇一八年九月



丹沢山地と富士山の東の麓から流れる酒匂川は、台風21号の影響で増水。河口から二キロ上流にある飯泉取水堰附近の流れは速い。しかし、足が細くて長い驚には、何のその。悠然と川面を眺め、魚を探している。

水面を泳ぐカルガモは流されまいと岸辺の葦の茂みに隠れていた。対岸に見えるのは、

飯泉取水施設。一日最大百五十万トンも取水し、相模原、横浜、川崎、横須賀に送る。川崎では豊富な地下水を使う生田浄水場があった。しかし、酒匂川の水を使う為に生田浄水場を廃止。海拔十mの酒匂川からポンプで海拔百mの相模原まで上げて、使っている。

これで建設業者は大喜び。水のくみ上げに市民は無駄な費用を払わされている。

